



ニュースレター

Vol. 36 – No. 2

3~4月 2024

最新ソフトウェアバージョン

Central Station 3 Version – 2.5.2 (6)

Central Station 2 Version – 4.3.0 (11)

Mobile Station Version – 4.13

MS WLAN Version – 4.0.0.1

デジタルコンサルタント

Curtis Jeung

Rick Sinclair

春はそこまで来ていますが、多くの人にとっては寒さが続いています。私たちはコロラド州デンバーで開催されるロッキーマウンテン トレインショーの準備を進めており、多くのクラブ会員に会えることを期待しています。

CS3/3+のマイナーアップデートがありました。このアップデートは、Mobile Stationをソフトウェアバージョン4.13にするためのものです。

最初の記事は、Central Station 2 または 3/3+ を使用したデコーダーのプログラミングについての考察で、2番目のトピックは、初心者向けの、Central Station イベントに必要な機器ガイドです。

最近、私はCentral Station(CS)を使用したデコーダーのプログラミングについてユーザーと議論しました。ある人が、CS2でプログラミングできるかどうか尋ねました。私はすぐに「はい…そう思います」と答えました。一瞬、答えは明らかに「はい」だと思いましたが、その後、それを試したことがないことに気づきました。そこで、試してみることにしました。

まず、どのCSでのプログラミングも同じです。CS2でプログラミングする場合は追加の手順が1つだけあります。これについては記事の最後で説明します。

CSを使用したプログラミングの便利な点は、Decoder Programmer(60971)が必要ないことです。また、LGB/ 1 番ゲージのプログラミングでは、LGB L55129 Programming Adaptor(55129)が必要ないことです。これは、デコーダーは機関車に載せたままで、ファイルがPCからCSに送信され、その後レール上の機関車に転送されるためです。

Central Station(2, 3/3+)によるプログラミング

CSでプログラミングするには、いくつかの要件があります。最初に行う必要があるのは、プログラミングを行うために使用するCSとPCが同じルーターに接続されているかを確認することです。

これは、PCからCSにデコーダープロファイルを転送し、それを機関車デコーダーに書き込むやり方であるためです。PCからCSにログインしないため、CSのIPアドレスを知る必要はありません。2つ目は、デコーダーが機関車に載っている必要があることです。ワイヤー付きデコーダーであっても21ピンデコーダーであっても関係ありません。機関車に正しく取り付けられていれば十分です。

デコーダープロファイルがPC上に正しい設定で置かれており、すべてのパラメータ、サウンド/アイコンが正しい場合は、正しいプログラミングパスを選択するだけです。

プログラムする機関車をCSに登録する必要があります。機関車デコーダーがサウンドデコーダーの場合、デフォルトのファンクションとデフォルトのサウンドを持ちます。いずれにせよ、機関車に取り付けて、CSに登録する必要があります。

プログラミングパスを図1および図2に示します。これは、"mDecoder Tool3" が表示するプログラミングパスの2種類の画面で、どちらも同じです。

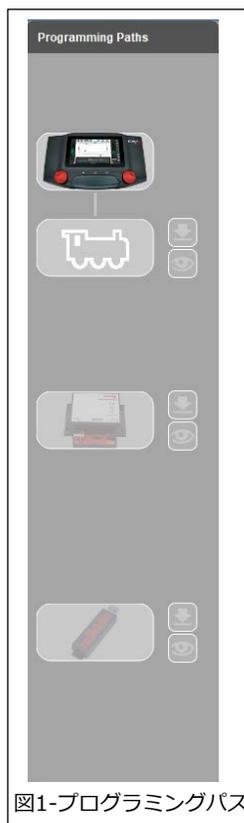


図1-プログラミングパス

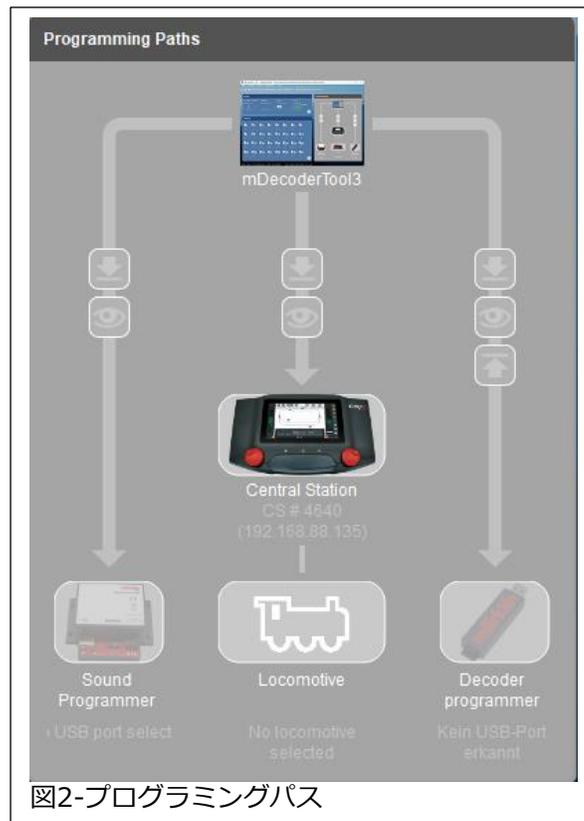


図2-プログラミングパス

どちらのプログラミングパスにも、デコーダーをプログラムするためのさまざまな機器の図が表示されます。画像がハイライトしていてグレー表示になっていない場合は、そのパスが選択されています。ここでは、CSのみを使用しているのでCS画像がフルカラーになっています。ルータに複数のCSが接続されている場合は、CS画像をクリックし、プルダウンメニューで目的のCSを選択します(図3)。ルータに接続されているCSが1つだけの場合、2番目の選択肢はありません。



図3 - プログラミングを行うCSの選択

CS画像の下には機関車のアイコンがあります。アイコンをクリックすると、CSの機関車リストにある機関車のプルダウンメニューが表示されます(図4)。プログラムする機関車を選択すると、デコーダーのアイコンが機関車ウィンドウに表示されます(図5)。パスとデコーダーが選択されたので、あとは下矢印 (図5の丸で囲んだ部分)を使用してプログラミングを開始するだけです。



図4 - プログラムするデコーダー(機関車)の選択

注: 最も重要なことは、プログラムする機関車(デコーダー)がプログラミングレール上にある必要があることです。

mDecoder Tool 3 では、プロファイルがPCに保存されている必要があり、ないとプログラミングは開始されません。また、ファームウェアのバージョン更新がある場合は、それも開始され、デコーダーをプログラムする必要があるかどうかを再度尋ねられます。

すべてが正しく完了すると、ポップアップウィンドウ内で進行状況バーが動き始めるはずですが。

次にマイナス面についてです。非サウンドデコーダーはファンクションしかないのです、非常に高速にデコーダに書き込むことができます。一方、サウンドファイルをサウンドデコーダーに書き込むのには時間がかかります。CSを経由すると、Decoder Programmerを使用するよりもはるかに時間がかかります。デコーダープロファイルの書き込みには5~10分かかりますが、デコーダーメモリがサウンドでいっぱいの場合はさらに時間がかかることが予想されます。

CS2によるプログラミング

最初に言いましたが、CS2でプログラミングするには追加の手順が1つだけあります。CS2のメモリは少ないため、書き込み一時ファイルを保存するためにUSBメモリを挿入する必要があります。USBメモリが挿入されていない場合、CS2はデコーダーをプログラムしません。USBメモリが挿入されているかどうかを尋ねるポップアップウィンドウが表示され、“Yes” / “No”ボタンが表示されます(図6)。ウィンドウには、CS2の電源をオフにし、USBメモリを挿入して再起動するよう指示があります。これをテストしたところ、再起動せずにUSBメモリを挿入してもOKでした。“Yes”をクリックするとプログラミングが開始されます。

この記事で、CSをプログラミングに使用する際の疑問が解消されることを願っています。

趣味を楽しんでください！
リック・シンクレア



図5 - プログラミングパスとデコーダーの選択

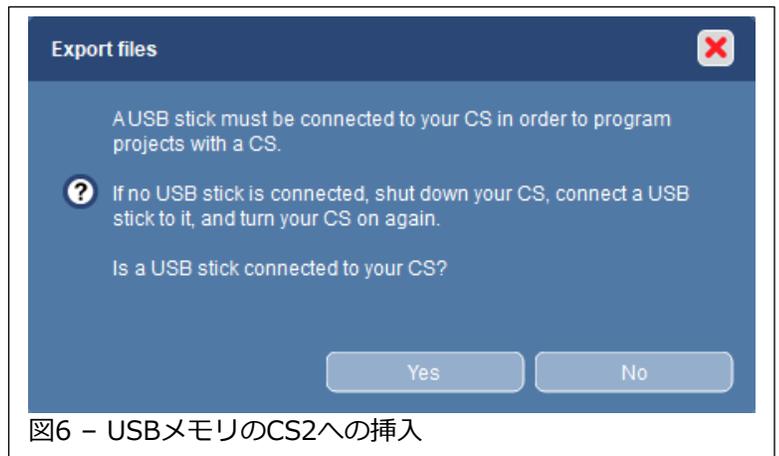


図6 - USBメモリのCS2への挿入

CSイベントに向けた初心者向けアクセサリガイド

タイトルが示すように、この記事は、セントラルステーション(CS)が単なる列車や線路の制御装置以上のものであることを学ぶ新しいCSユーザーを対象としています。CSイベントは、複数アクションのワンタッチコマンドを作成できるアプリです。これらは、自動制御シーケンスの作成にも使用できます。列車の衝突を防ぐ安全対策(閉塞制御)を作成するためにも使用できます。終端駅間のシャトルトレインなどのマクロでも使用されます。この記事では、イベントを実験するために必要な基本的な機器・アクセサリについて説明します。

イベントが機能するには、イベントが開始または「起動」される必要があります。ソフトウェアイベントは手動で開始されます。言い換えれば、イベントを実行するために機器は必要ありません。デフォルトでは、イベントは手動起動で設定されます。手動イベントは、機関車の操作シーケンスやランダムな操作アクションに最適です。もう1つの選択肢は、在線センサーによってイベントを起動することです。

在線センサーを使用したイベントの場合、追加の機器が必要になります。センサーには主に3つの形態があります：

センサー種類	品番	インストールに関する注意事項	機能
コンタクトレール	24995	コンタクトレール区間の両端が94mmの直線となります	1本のアウターレールを絶縁し、スイッチとして機能させます
サーキットレール	24994 24294 24194	集電シューにより起動されます。2個以上のシューがある列車はイベント動作に影響を与える可能性があります	走行方向を検出できます
磁気リードスイッチ	7555	リードスイッチのレールへの取り付け作業が必要です	車両に取り付けた磁石がスイッチを作動させます
通常レールのコンタクトレールへの改造 (24995不要)	74030 <small>センターレール インシュレータ</small>	これは、標準のCレールを改造し外側レール1本を絶縁分離するものです。絶縁インシュレーターが必要です。直線でも曲線レールでも適用可能	コンタクトレールと同じ

図1に示すコンタクトレールは、終端線でない限り、ペアで使用する必要があります。

使用するセンサーの種類に関係なく、フィードバックモジュールが必要です。フィードバックモジュールまたはS88デコーダーには、センサーを接続する16個の入力端子があります。3つのタイプが用意されています。次ページを参照してください。

16個のセンサーを各フィードバックモジュールに配線できます。イーサネット8ピンケーブル(RJ45)を使用して複数のモジュールを接続できます。

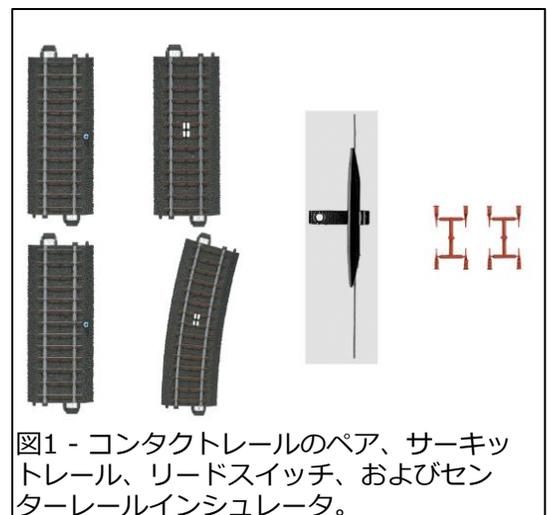


図1 - コンタクトレールのペア、サーキットレール、リードスイッチ、およびセンターレールインシュレータ。

古いS88(6088、60880)との下位互換性を確保するには、別売のACアダプター(66367)とともにL88が必要です。古いユニットは、L88にリボンケーブルで接続し、5Vで動作させます。

モジュール	品番	製品説明
S88 デコーダー	60881	あらゆるタイプのセンサーに最適
S88 デコーダー直流用	60882	2線式に適しています。コンタクトレールには最適ではありません
L88 (S88 Link)	60883	60881 と似ていますが、ACアダプター(66367)が必要です。このユニットは、リボンケーブルを使用して古いS88デコーダー(6088、60880)を接続できます。

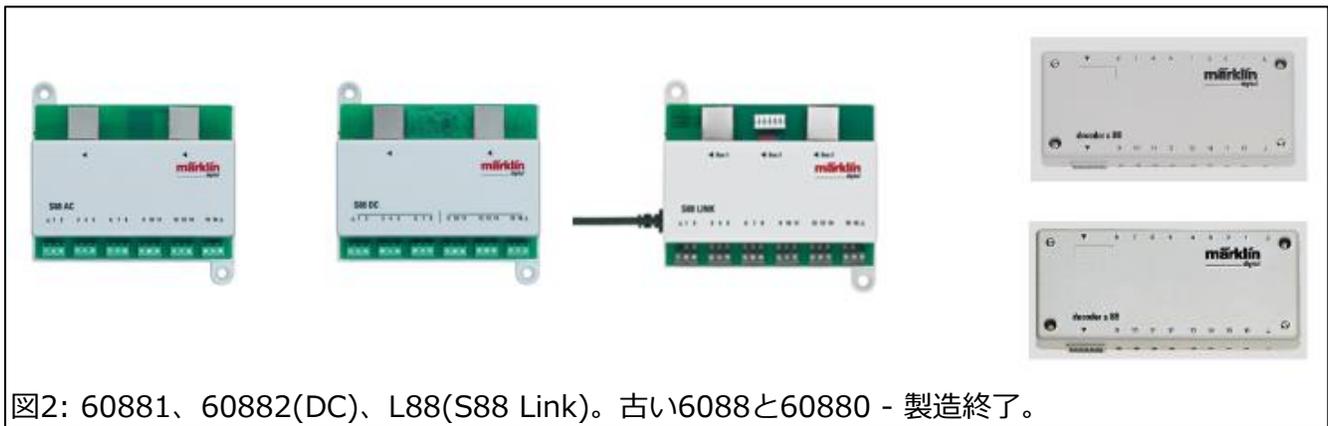


図2: 60881、60882(DC)、L88(S88 Link)。古い6088と60880 - 製造終了。

センサー起動を必要とするイベントを試したい場合は、上記の機器が必要です。これらの機器は、CSのイベント機能の代わりにコンピューター上の制御ソフトを使用している場合にも使用されます。

クイックヒント: CS3/3+での制御画面の拡張

あなたが CS3/3+のユーザーで、レイアウトが大きすぎてCSの小さい画面では制御できないように思える場合は、これをお読みください。CS2から、Märklinは補助画面アプリを提供し始めました。それは、Main StationとMobile Stationでした(現在は利用できません)。CS3も一時期このアプリを使用していましたが、欠陥がありました。

現在、CS3画面を2つの方法で拡張できます。以下にそれぞれの長所と短所を述べます。

Web browser - これは理想的な操作インターフェイスです；すべての制御機能を操作できます。明確にしておきますが、「操作できる」とは、レイアウトの操作のみを指します。その他の多くの編集操作は、このWeb browserではできません。イベントの編集はWeb browserからは行えません。これは、このような簡単にアクセスできる方法の改ざんを防ぐため、望ましいことです。おそらく、制御のレスポンスも改善します。複数のユーザーが使用する場合にもメリットがあります。

RealVNC Viewer - RealVNC Viewerは、コンピュータをCS3に接続してCS3を操作できる理想的な方法です。CS3はスクリーンサーバーとして動作するように設定されており、RealVNC ViewerはスクリーンサーバーにアクセスしてPCウィンドウに表示します。これはCS3画面を完全に表示できるもので、CS3のすべての機能にアクセスできます。編集作業する必要がある場合は、CS3画面で編集するよりも効率的に実行できるため、これは良いオプションです。イベント編集はその代表的な例です。

RealVNC Viewer のスクリーンサーバーをセットアップするには、**Web browserから**、system/settings(システム/設定) - Screen Server(サーバー画面)にある指示に従ってください。パネルにあるREALVNC Viewer リンクを使用することをお勧めします。ポップアップされるサブスク립ションや支払い手続きは、リンク先(無料で使用できます)と関係ないため、使用しないでください。

記事の冒頭で述べたように、主な目的は、使用可能なコントロール画面を拡張することです。RealVNC ViewerではCS画面と同じ画面が見れるだけですが、完全に編集作業が許可されます。

Web browserから、system/settings(システム/設定) - Browser access(ブラウザアクセス)パネルを使用すると、CS3本体とは異なる画面を表示できます。制御できる内容を拡張するには、別のブラウザウィンドウを開いて、モニタに(複数のモニタでも)2つ以上のブラウザを表示するだけです。各ウィンドウに異なるCS3表示を設定できます。例を図4に示します。CS3の直接操作に加えて、PCデスクトップ上に制御用に3つのブラウザウィンドウを開いています。

CurtisJeung

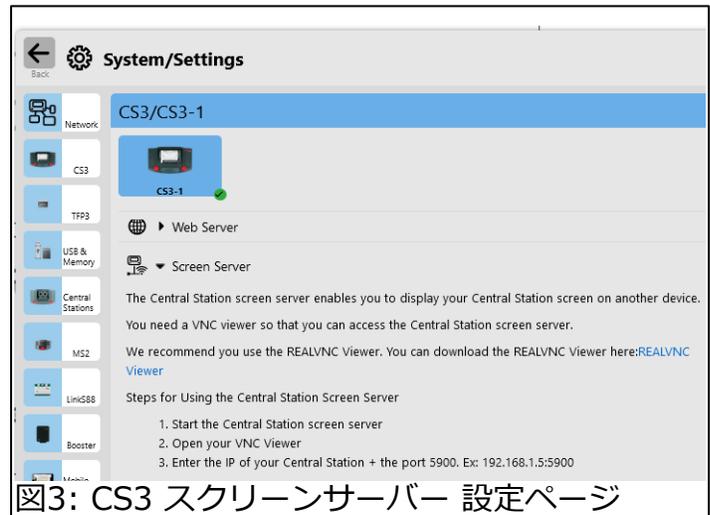


図3: CS3 スクリーンサーバー 設定ページ



図4: マルチスクリーン マルチウィンドウ ブラウザ表示

次の予定 :

- **Rocky Mountain Train Show**
Denver, Colorado
April 6th – 7th
- **ONLINE Webinar**
April 10th
- **InterCity Trains and Hobbies - *In-Store event***
19965 96th Ave - Langley, BC Canada
Toll-Free: 1-855-587-2467
Saturday, May 4th

デジタル、技術、および製品関連について、リックとカーティスに質問するには:

Phone: 650-569-1318

E-mail: digital@marklin.com

Hours: 7:30 AM – 4:30 PM CT Monday-Thursday / Friday 7:30 AM – 1:30 PM CT

Märklin Digital Club · 1406 Creek Trail Drive · Jefferson City, MO 65109

©2024 Rick Sinclair, Curtis Jeung@Märklin, Inc.
Translated by H.Inoue@The Maerklin Chuff-Chuff Club of Nagoya.